まちづくりの基本理念と将来像 [企画分科会案]

基本理念

秦荘町では、第3次総合計画において、これまでの「ハーティータウン秦荘」を基本理念として、人権尊重のまちづくりを継承しながら、みんなの知恵を集めて活かし、住民が豊かに暮らし、しあわせを感じることでできるまちづくりを目標としています。愛知川町では、お互いが幸せで生きがいのあるまちを築くため、「人権尊重とパートナーシップのまちづくり」「環境を守り、やすらぎを守るための確かな取り組み」「健康と生きがい追求への応援」をまちづくりの理念の基本テーマとしています。

これまで共に、「人権尊重、環境保全、豊かな暮らし」を重視したまちづくりを進めてきました。こうしたまちづくりにおける基本的な考え方は、新町においても受け継いでいくべきものです。

新しい時代にふさわしいまちづくりは、行政だけの力では進められません。一人ひとりの対話と共感を基調とし、2町それぞれの個性や資源に磨きをかけながら、住民自ら責任を持った主体的なまちづくりと、そのような住民を主役とした行政の展開が必要です。そして、地方分権時代において、自分たちのまちのことは自分たちで考え、話し合い、決定するという自己決定・自己責任の原則にたって、相互理解と信頼に基づいた住民と行政の協働（パートナーシップ）によるまちづくりを目指します。

以上のことを踏まえ、

「自然と人が輝き、より豊かさを協働で追求するまちづくり」

を新町におけるまちづくりの基本理念とします。

新町の将来像

秦荘町と愛知川町は、それぞれ「心ふれあい元気なまちハーティータウン秦荘」、「安心、感動、元気がみんなの財産～愛と笑顔いっぱい[やすらぎ街道都市]愛知川」を将来像に掲げまちづくりを進めてきました。秦荘町では、ハーティータウンのまちづくりがめざしてきた心ふれあいまちづくりを継承しながら、人々が生き生きと心躍動し、幸せを感じることでできるまちづくりを目指してきました。愛知川町では、住民と行政のパートナーシップのもと、一人ひとりの思いを大切に、人と人がつながり、子どもからお年寄りまでが、楽しく安心して暮らせるとともに、新たな活力が流れ出し町全体が21世紀の街道機能を有するような基盤整備、支援体制、環境づくりを進め、真のゆとりと豊かさを実感できる地域社会の実現を「安心」「感動」「元気」をキーワードに進めてきました。

両町がこれまで培ってきたまちづくりを尊重しつつ、その特色をネットワーク化し、地域の新しい魅力を引き出すまちづくりを進めるため、共に目指してきた「心ふれあい」「元気なまち」を基本としつつ、住民・企業・行政がそれぞれの役割を考え、共に知恵と力を結び、私たちの将来にとって重要な町の潜在能力や価値が発揮される新しい文化（まちづくり）の創造を目指すため

「新しい確かな文化～心ふれ愛・笑顔いっぱいの元気なまち」

を新町の将来像とします。

さらに、こうしたまちの将来像を実現するための具体的な取り組みとして3つの分野に沿ってまとめてみました。

安心して生活でき、住んでいてよかったと実感できるまち

いつまでも健康で安心して住み続けられる自立した暮らし、災害に強く誰もが安心して出かけられるまち、安心でやすらぎのある生活環境づくりに取り組みます。

ふれあい、学びあい、感動できるまち

生涯にわたって成長する感動、地域の人々や来訪者と交流し、新たな発見に出会う感動を応援するため、町じゅうが学習と交流の場となるまちづくりに取り組みます。

だれもが住みたくなる、魅力あふれる元気なまち

一人ひとりの元気が発揮され、次代を担う子どもたちがのびのび育ち、まちのにぎわいが生まれるよう、人とまちの元気が共有されるまちづくりに取り組みます。